

S-Stage キット (57mm/115cc) 取扱説明書

製品番号	01-05-5085
	01-05-5087 (カムシャフトレス)



Here is english manual.

Can be view the pdf data of instruction English manual by scanning the TWO-DIMENSIONAL CODE.

適応車種	Ape	(HC07-1000001 ~) (HC13-1000001 ~)
	XR100 Motard	(HD13-1000001 ~)
	CRF100F	(HE03-2400001 ~)
	XR100R	(HE03-1200001 ~)
	NSF100	

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

使用燃料についてのご注意

このキットは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。
レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。
キット取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スパークプラグについてのご注意

スパークプラグは必ず CR8HSA (NGK) または、U24FSR-U (DENSO) に交換して下さい。その後、スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。
(説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。)
- ◎当製品の取り付けには、エンジン脱着等の作業が必要になります。上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行う事をお勧めします。
- ◎取り付けの際には、下記記述の工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼される事をお勧め致します。
- ◎ Ape は、当製品単体では性能を発揮しません。別売りのキャブレターキットをお買い求め下さい。
Ape100:HC07-1600001 ~ 及び HC13-1000001 ~ のフレーム番号の車両はキャブレターを交換するとエキゾーストマフラーのフィードパイプステーが干渉します。取り付けには、フルエキゾーストマフラーに交換が必要です。
注) HC07-1600001 ~ 及び HC13-1000001 ~ のフレーム番号の車両に、HC07-1000001 ~ 1599999 までの対応マフラーを使用して公道走行した場合、道路運送車両法に適合しない場合があります。マフラーを変更して公道走行する場合、必ずフレーム番号に適合したマフラーをご使用下さい。
- ◎ Ape のさらなるパワーアップには、弊社製マフラーをお勧めします。
- ◎ボルト、ナット、ノックピン、バックキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
- ◎液体バックキン等は絶対に使用しないで下さい。オイル通路を防ぐ等の可能性があり、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。
- ◎当製品を取り付けるには、別途、L. クランクケースカバーガスケット (ホンダ品番 11394-KN4-750) が必要です。別途お買い求め下さい。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- 作業等を行う際は、必ず冷間時 (エンジン及びマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
(部品の脱落の原因となります。)
- ガスケット、バックキン類はよく点検し、摩耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

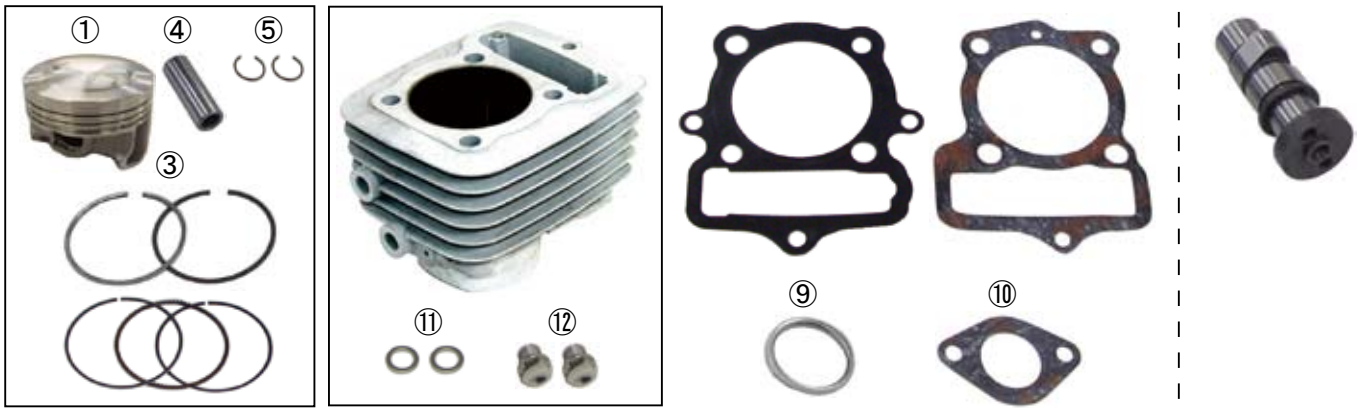
- エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(事故につながる恐れがあります。)

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

01-05-5087

01-02-8253
ピストンキット

番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	ピストン 57mm	1	
2	シリンダー COMP. 57mm	1	00-00-1107
3	ピストンリングセット 57mm	1	01-15-017
4	ピストンピン 14mm	1	00-01-0114 (⑤クリップ付)
5	ピストンピンサークリップ 14mm	2	00-01-0052 (6ヶ入り)
6	カムシャフト X20E68	1	01-08-042
7	シリンダーヘッドガスケット	1	01-13-022 (ガスケット各1/ ワッシャ2ヶ入り)
8	シリンダーガスケット	1	
9	エキゾーストパイプガスケット	1	
10	インレットパイプガスケット	1	
11	シーリングワッシャ	2	00-07-0072 (ボルト/⑪ワッシャ 各1)
12	オイルプラグボルト	2	

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

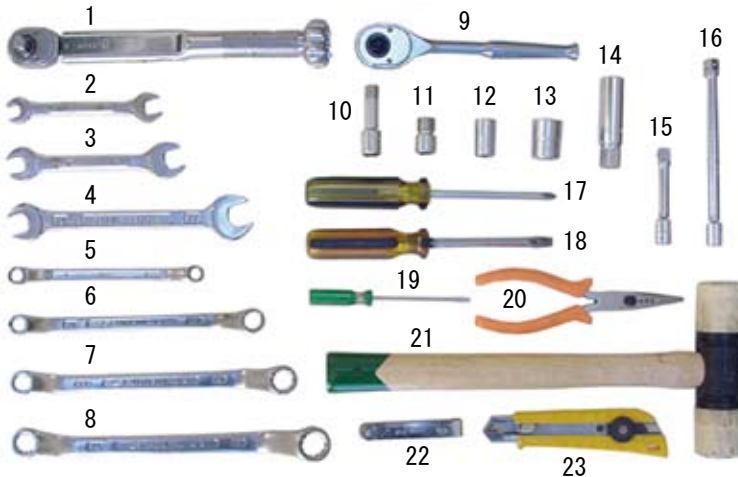
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

※01-05-5087 には、カムシャフトは付属しておりません。

※リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合があります。使用につきましては問題ございません。

予めご了承下さい。

取り付けに使用する工具等



1	トルクレンチ	16	エクステンションバー中
2	スパナレンチ 10-12mm	17	ドライバープラス小
3	スパナレンチ 12-14mm	18	ドライバーマイナス小
4	スパナレンチ 14-17mm	19	細軸ドライバーマイナス
5	メガネレンチ 8- 9mm	20	ラジオペンチ
6	メガネレンチ 10-12mm	21	プラスチックハンマー
7	メガネレンチ 12-14mm	22	シックネスゲージ
8	メガネレンチ 14-17mm	23	カッターナイフ
9	ラチェットレンチ		またはスクレーパー
10	ディープソケット 8mm		針金等
11	ソケット 10mm		ウエス
12	ソケット 12mm		エンジンオイル
13	ソケット 17mm		レーシングスタンド
14	プラグソケット 16mm		ジャッキ等
15	エクステンションバー小		棒ヤスリ

ボルトについて

- 普通、ボルトとナットは反時計方向に回すと緩み、時計方向に回すと締まります。
- ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まる場所まで締めましょう。
- ネジを緩めるという事は、締まっている状態から3～4回転反時計方向に回す事を言い、取り外すという事はネジが取れるまで反時計方向に回す事を言います。
- ネジを締めると言う事は、ネジを緩まないように締める事を言います。ただ、ボルトは強く締め過ぎると折れ、弱過ぎると走行中に振動等で緩んで部品脱落の恐れがあり、大変危険です。ボルトが折れない・緩まないような締める力を数値として表したのが規定トルクです。また、その数値はボルトの大きさによって変わります。
- トルクレンチを用意する事が出来ない方は折れない・緩まない力でネジを締めれるのであれば試して下さい。但し、弊社では責任を負いません。トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めると折れるのか、緩むのかは経験と勘でしか補えません。
- 工具を正しく使用しない場合、ボルト・ナット等のかかり部分が破損する場合があります。

◇フューエルコックをOFFにします。



◇サイドスタンドを取り外す必要がありますので、レーシングスタンド等を用いて車両を確実に支えて下さい。

※作業は必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。

※各パーツはホコリやオイルなどの汚れを取り除いて、きれいにしながら取り外していくようにして下さい。

※取り外したボルトやナットは無くさないように、どの場所を使用するのかわかるように保管して下さい。

◇チューブクリップをずらし、フューエルチューブの接続を外します。



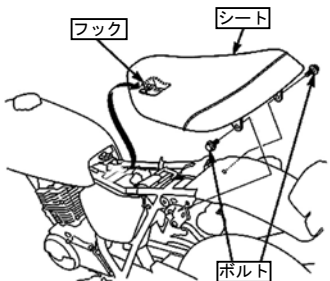
●エンジンの取り外し

①シートとタンクの取り外し

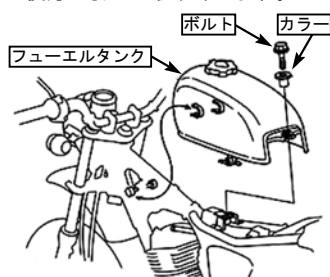
XR100R

※オーナーズ / サービスマニュアルの指示に従いエンジンをフレームから取り外します。

◇2本のボルトを取り外し、シートを後方に引いて外します。

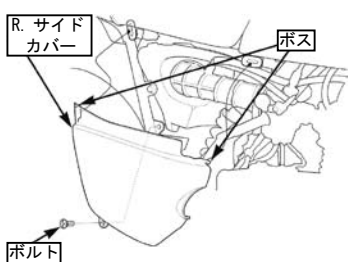


◇ボルトを外し、フューエルタンクを後方に引いて取り外します。

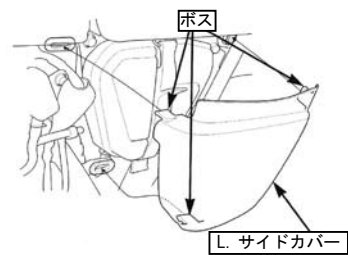


サイドカバーの取り外し

◇右サイドカバーのボルトを取り外します。
ボス2ヶ所をフレームから外すと、サイドカバーが外れます。



◇左サイドカバーのボス3ヶ所をフレームから外すと、サイドカバーが外れます。



②キャブレターの取り外し

◇キャブレターのトップキャップを外し、スロットルバルブをキャブレターから抜き取ります。



◇コネクティングチューブバンドのスクリューを緩めます。



◇ボルト2本を取り外し、シリンダーヘッドからマニホールドとキャブレターを取り外します。



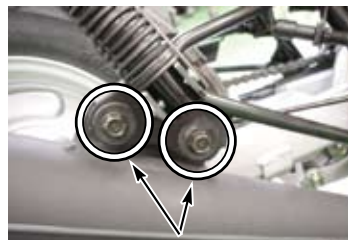
③エキゾーストマフラーの取り外し

◇シリンダーヘッド側のナット2個を取り外します。



Ape

◇マウントボルトとワッシャを取り外し、エキゾーストマフラーを取り外します。



④スパークプラグの取り外し

◇プラグキャップを引っ張り、取り外します。
必ずキャップ部分を引っ張って外して下さい。



◇スパークプラグを取り外します。



⑤接続を外す

◇配線の接続を外します。



◇ワイヤーバンドを外します。



◇ブリーザーホースの接続を外します。
(Ape の場合)



◇クラッチケーブルガイドのナットを緩め、リフターレバーからクラッチケーブルの接続を外します。



◇ケーブルガイドからクラッチケーブルを外します。



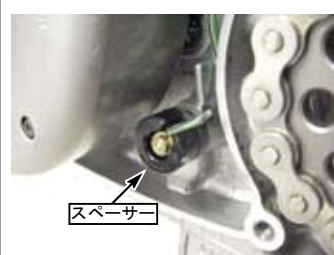
⑥ドライブプロケットの取り外し

◇L. クランクケースカバーのボルト5本を外し、L. クランクケースカバーを取り外します。



◇ガスケットがきれいに剥けず残った場合は、スクレーパーやカッターナイフ等で取り除いて下さい。

◇スペーサーを取り外しておきます。

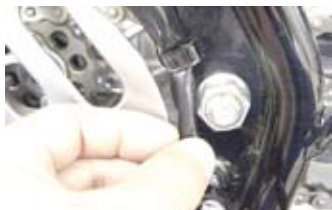


◇ドライブスプロケットの2本のボルトを外し、フィキシングプレートとドライブスプロケットを取り外します。



⑦ L. ステップの取り外し

◇サイドスタンドスイッチコードをフレームから取り外します。



◇ボルト2本を取り外し、L. ステップを取り外します。



⑧ エンジンの取り外し

◇エンジン下部にジャッキや適な台等を置き、エンジンを支えます。



◇フロントエンジンハンガーのナット4個を取り外し、ボルト4本を抜き取ってフロントエンジンハンガーを取り外します。



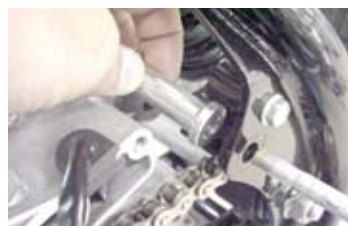
◇リアエンジンマウントの上側のナットを取り外します。



◇下側のナットを取り外します。



◇まず、上側のボルトを抜き取り、カラー（Ape の場合）とクラッチケーブルガイドを取り外します。



◇下側のボルトを抜き取り、エンジンをフレームの左側から取り外します。フレーム等に傷をつけないように注意して下さい。



● シリンダーヘッド、シリンダー、ピストンの取り外し

① シリンダーヘッドの取り外し

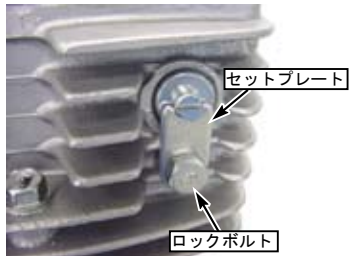
◇シリンダーヘッドカバーボルト2本を外し、シリンダーヘッドカバーとガスケットを取り外します。



◇フライホイールを固定し、カムスプロケットの6角ボルト2本を緩めておきます。



◇ロックボルトとセットプレートを取り外し、アジャスターを取り外します。



◇カムスプロケットの6角ボルト2本を取り外します。



◇カムスプロケットをカムシャフトから外し、カムチェーンから外します。



◇カムチェーンをクランクケース内に落とさないように針金等で吊っておきます。



◇シリンダーヘッドマウントボルトを取り外します。



◇カムシャフトホルダーナット4個を対角に数回に分けて緩めてワッシャー4個、カムシャフトホルダー、カムシャフト、ノックピンを取り外します。



◇シリンダーヘッドを取り外します。



◇ノックピン2個は、再使用する
ので取り外しておきます。



◇シリンダーヘッドのマニホールド
取り付け面のガスケットカスを
スクレーパーやカッターナイフ
等できれいに取り除きます。



②シリンダーの取り外し

◇カムチェーンガイドを取り外し、
シリンダーを抜き取ります。
(かたい時はプラスチック
ハンマーでシリンダーを軽く
たたき、取り外します。)



カムチェーンガイド



◇ノックピン2個は、再使用する
ので取り外しておきます。



◇ロックナットとアジャストボルトを
シリンダーから取り外します。



◇スプリングを外し、カムチェー
ンテンショナーをシリンダーから
取り外します。



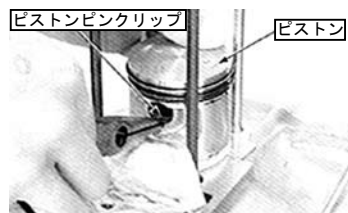
◇クランクケースのシリンダー
ホールとカムチェーンホールに
ゴミや部品が入らないように
ウエスを詰め込みます。



③ピストンの取り外し

◇ピストンピンサークリップの片側を
取り外します。

※ピストンピン穴の切り欠き部を利用
してこじると外れます。



ピストンピンクリップ

ピストン

◇サークリップを取り外した方へ
ドライバー等でピストンピンを
押して外します。



◇ピストンが外れます。

④取り付け面をきれいにする

◇ガスケットカスをスクレーパーや
カッターナイフ等できれいに取り
除きます。取り付け面にキズを
付けないように注意して下さい。

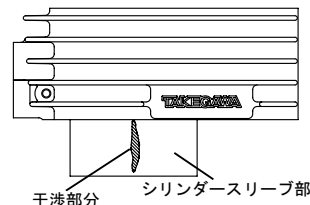


◇ウエスできれいに拭き取ります。



●クランクケースの修正

※シリンダーをクランクケースに
取り付けの際、左右クラン
クケースのズレ等により、
シリンダースリーブ部とクラン
クケーススリーブホール部が干渉
する場合があります。干渉した
状態で使用するとスリーブが
変形し、エンジントラブルの
原因となりますので必ず点検
して下さい。



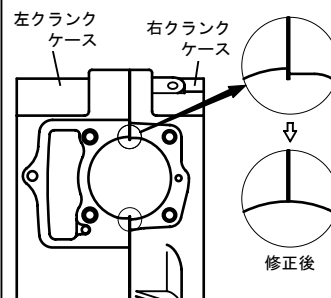
干渉部分

シリンダースリーブ部

◇クランクケース内に削り粉が
入らないようにしっかりと
ウエスを詰めます。

◇左右クランクケースのズレの
出っ張っている部分を削り、
引っ込んでいる部分と同じ高さに
します。

◇削り終わったら削り粉がクラン
クケース内に入らないように慎重に
ウエスを取り除きます。



左クラン
クケース

右クラン
クケース

修正後

◇きれいなウエスをスリー
ブホールに詰めておきます。

◇キットを取り付けた後に
エンジンをアイドリングで数分
かけ、すぐにエンジンオイルを
新品に交換して下さい。

●S-Stage キット取り付け

①ピストンの取り付け

◇ピストンピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付けます。

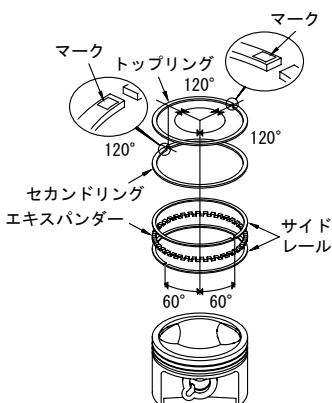
※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けして下さい。

※ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けの事が出来ます。

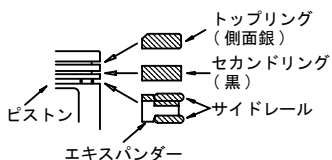
※押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けて下さい。



◇図を参考にしてピストンリングを取り付けます。



トップリングの上面及びセカンドリングの上面には印字があります。



◇オイルリングエキスパンダーを入れます。



◇下オイルリングサイドレールを入れます。



◇上オイルリングサイドレールを入れます。



◇文字面を上にして、セカンドリングを入れます。



◇文字面を上にして、トップリングを入れます。



◇ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。



◇コンロッドのピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。



◇ピストンピンにエンジンオイルを塗布し、ピストンの上面の→が、前(排気側)を向くようにピストンを取り付けます。



◇付属のピストンピンサークリップを取り付けます。

※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けして下さい。

※ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けの事が出来ます。

※押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けて下さい。

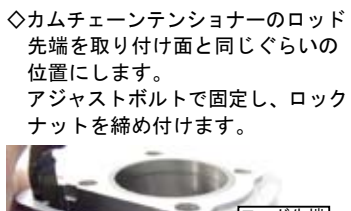


②シリンダーの取り付け

◇カムチェーンテンショナーをキットのシリンダーに差し込み、スプリングのフックをシリンダーに引っ掛けます。



◇カムチェーンテンショナーのロッド先端を取り付け面と同じぐらいの位置にします。アジャストボルトで固定し、ロックナットを締め付けます。



◇詰めていたウエスを取り外します。



◇シリンダーを付けていきます。



◇クランクケースとシリンダーの合せ面をシンナー等で脱脂します。



◇ノックピン2個とシリンダーガスケットをクランクケースに取り付けます。



◇シリンダーの内側にエンジンオイルを塗布し、指で均等に塗り広げます。



◇ピストンの全周面と、ピストンリングにエンジンオイルを塗布します。



◇シリンダーを入れていきます。



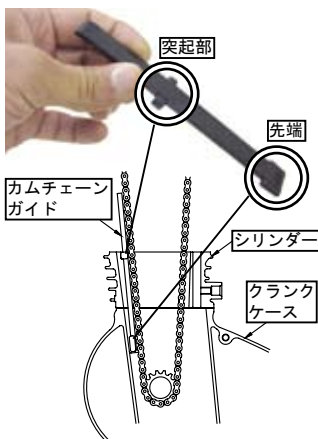
◇シリンダーにピストンリングの
合い口がずれないように指で
少しずつはめていきます。



◇ピストンがシリンダーに
はまったら、カムチェーンを
シリンダーに通してシリンダーを
クランクケースにはめ込みます。



◇カムチェーンガイドの先端を
クランクケースの溝に、突起部を
シリンダーの溝に合わせよう
にして差し込みます。



③シリンダーヘッドの取り付け

◇シリンダーとシリンダーヘッドの
合せ面をシンナー等で脱脂します。



◇ノックピン2個とシリンダー
ヘッドガスケットをシリンダーに
取り付けます。



◇カムチェーンをシリンダーヘッドに
通し、シリンダーヘッドを取り付け
ます。



◇アジャスターをカムチェーン
テンショナーとシリンダーヘッドに
通して取り付けます。



◇ロックボルトでセットプレートを
仮止めします。



◇シリンダーヘッドマウントボルトを
仮止めしておきます。



④カムシャフトと カムプロケットの取り付け

◇01-05-5085 キット内のカム
シャフト取り付け時は下記の
●マークの作業を行って下さい。
01-05-5087 キット時、ノーマル
カムシャフトを使用する場合は
●マークの作業は必要ありません。

●カムシャフトとカムシャフト
ホルダー及びロッカーアームの
確認作業を行います。
(キット内のカムシャフトは、
ノーマルカムシャフトに比べリフト
量を増やしています。その為、カム
シャフトホルダー及びロッカー
アームの寸法誤差により、カム
シャフトと干渉する物があります。
必ず確認作業を行って下さい。)
●カムシャフトホルダーにキット内の
カムシャフトを合わせ、カム
シャフトのカム山と、カムシャフト
ホルダー及びロッカーアームが
干渉していないか確認します。



●干渉が無い場合は、そのまま取り
付け作業を行います。

※干渉がある場合は、カムシャフト
ホルダー及びロッカーアームの
干渉部分を削り、修正します。
以下◆の作業を行って下さい。

◆カムシャフトホルダーからロッカー
アームシャフトを抜き取りロッカー
アームを取り外します。



◆干渉部分を削り、修正します。

使用工具

カムシャフトホルダー修正
：棒ヤスリ / エアーリユーター
又は電気リユーター
ロッカーアーム修正
：エアーリユーター又は電気
リユーター / ダイヤモンドヤスリ

⚠注意：必要外の部分は削ら無い事。
⚠注意：カムシャフトホルダー
ジャーナル部、ロッカー
アーム取り付け部、シリンダー
ヘッド取り付け面にキズ等を
付けない様、注意して作業を
行う事。
⚠警告：リユーターを使用する場合、
キリコが目に入らない様、
必ず目保護して作業を
行う事。



◆削り修正後、バリやカエリが
無いかを確認し、洗浄します。

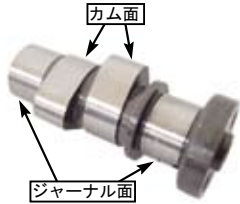
◇ロッカーアームシャフトに
モリブデン溶液を塗布し、カム
シャフトホルダーにロッカー
アームを取り付けます。



●カムシャフトホルダーにカム
シャフトを合わせ、カム山との
干渉がないか再度確認します。



◇キットのカムシャフトのジャーナル面とカム面にエンジンオイルを塗布し、シリンダーヘッドに取り付けます。カムシャフトのカム山は下側に付けておきます。



◇ノックピン2個を取り付けます。



◇カムシャフトホルダーを取り付けます。



◇ワッシャ4個を取り付けます。



◇ナット4個を対角に数回に分けて均等に締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット
トルク：20N・m (2.0kgf・m)

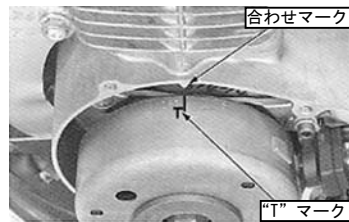


◇仮止めしていたシリンダーヘッドマウントボルトを本締めします。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
シリンダーヘッドマウントボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



◇フライホイールの“T”マークがクランクケースの“マ”マークに合っているか確認します。

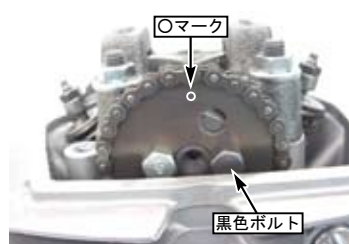


◇カムスプロケットの“O”マークが真上を向くようにカムチェーンを取り付けます。カムスプロケットをカムシャフトにはめ込みます。



◇フライホイールを少し回して、カムスプロケットを回し、6角ボルトを取り付けやすくします。

◇カムシャフトのボルト穴をカムスプロケットに合わせて6角ボルト2本を手で締め込み、仮り止めます。この時、ロックボルト（黒色ボルト）をインテーク側に付けて下さい。



◇フライホイールを固定し、カムスプロケットの6角ボルト2本を締め付けます。

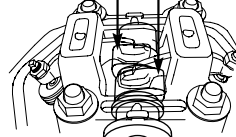
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
6角ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



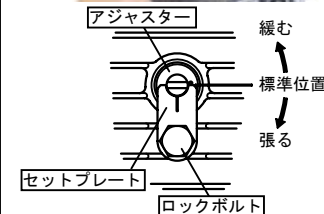
⑤カムチェーンの調整

※カムチェーンは張りすぎてもたるみがあってもエンジンの調子を損ないません。確実に作業を行って下さい。

◇フライホイールを反時計方向に回し、カムシャフトの両方のカム山が上になる位置にします。カム山を上にします。



◇フライホイールを手で少し動かし、カムスプロケットとのガタをみながら、アジャスターの“O”マークを張る方向や緩む方向に回してみます。



◇ガタが無く、フライホイールが重くならないところでロックボルトを締め込み、アジャスターを固定します。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ロックボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇アジャスターの調整だけではガタが無くならない場合、シリンダーのアジャストボルトでも調整を行います。

◇アジャスターをガタが一番少ない位置で固定し、シリンダーのロックナットを緩め、アジャストボルトを少しだけ緩めます。



◇マイナスドライバーでアジャストボルトを固定し、ロックナットを締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ロックナット
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

◇再びアジャスターを回して、ガタが無くフライホイールが重くならない所を探し、ロックボルトでアジャスターを固定します。

⑥バルブ隙間の調整

◇フライホイールを反時計方向に回して、カムスプロケットの“O”マークが真上を向き、フライホイールの“T”マークがクランクケースの“マ”マークに合う位置で止めます。

◇アジャストスクリューとバルブ端面の間（バルブ隙間）に0.05mmのシクネスゲージを差し込みます。



◇引き抜く時に少し抵抗がある位にアジャストスクリューを合わせ、ナットを締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇ナット締め付け後、0.05mmのシクネスゲージを再度差し込み、バルブ隙間を確認します。◇シリンダーヘッドのオイル溜りにきれいなエンジンオイルを一杯まで入れます。



◇シリンダーヘッドカバーとガスケットをシリンダーヘッドカバーボルト2本でシリンダーヘッドに取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
シリンダーヘッドカバーボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



●エンジンの取り付け

①エンジンの取り付け

XR100R

※オーナーズ / サービスマニュアルの指示に従いエンジンをフレームに取り付けます。

◇エンジン下部にジャッキや適な台等を置きエンジンを支え、車体の左側からエンジンを取り付けます。

◇リアエンジンマウントの下側にボルトを左側から差し込みます。



◇カラーとクラッチケーブルガイドを取り付け、リアエンジンマウントの上側にボルトを左側から差し込みます。



◇ナット2個を仮止めします。



◇フロントエンジンハンガーを取り付け、ボルト4本を左側から差し込み、ナット4個を仮止めします。



◇ドライブチェーンを取り付けたドライブプロケットをカウンターシャフトに差し込みます。差し込みにくい場合は、エンジンを軽く揺すりながら差し込んで下さい。



◇ドライブチェーンに適度なたるみを持たせたまま、仮り止めたリアエンジンマウントのナット2個と、フロントエンジンハンガープレートのナット4個を本締めします。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
リアエンジンマウントナット
トルク：44N・m (4.4kgf・m)
フロントエンジンハンガープレートナット
トルク：26N・m (2.7kgf・m)

◇フィクシングプレートをカウンターシャフトに差し、ドライブプロケットのボルト穴に合わせて、ボルト2本を取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



②L. クランクケースカバーの取り付け

◇L. クランクケースカバーとクランクケースの取り付け面をシンナー等で脱脂します。

◇スペーサーを取り付け、L. クランクケースカバーと新品のガスケットをボルト5本でクランクケースに取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



③L. ステップの取り付け (Ape の場合)

◇L. ステップをボルト2本でフレームに取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：26N・m (2.7kgf・m)



◇サイドスタンドスイッチコードをフレームのクランプに取り付けます。



④接続

◇配線の接続を行います。



◇ワイヤーバンドでコードをフレームに固定します。



◇ブリーザーホースを接続します。(Ape の場合)



◇リフターレバーにクラッチケーブルを取り付け、クラッチケーブルガイドに取り付けてナットを締め付けます。



⑤スパークプラグの取り付け

◇スパークプラグを、まず手で締め込みます。
◇プラグレンチを用いて締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
スパークプラグ
トルク：14N・m (1.4kgf・m)



◇プラグキャップを取り付けます。



⑥エキゾーストマフラーの取り付け

XR100R

※オーナーズ / サービスマニュアルの指示に従いエンジンをフレームに取り付けます。

◇シリンダーヘッド側のナット2個を仮止めします。



Ape

◇マウントボルトとワッシャを仮止めします。



◇仮止めた2ヶ所を本締めします。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット2個
トルク：12N・m (1.2kgf・m)
マウントボルト
トルク：20N・m (2.0kgf・m)

⑦キャブレターの取り付け

Ape

※このキットはノーマルキャブレターでは性能を発揮しません。別売りのキャブレターキットをお買い求め下さい。

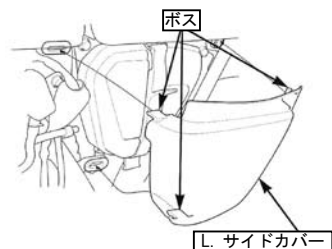
※取り付けはキャブレターキットの説明書を参照して下さい。

XR100R

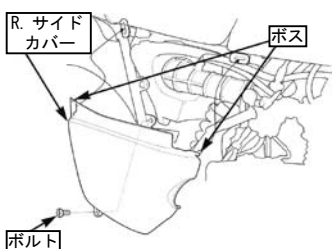
※オーナーズ / サービスマニュアルの指示に従いキャブレターを取り付けます。

●サイドカバーの取り付け (Ape の場合) (STD エアクリーナー BOX 使用時)

◇左サイドカバーのボス 3ヶ所を
フレームに差し込み取り付けます。



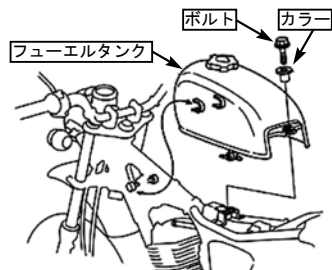
◇右サイドカバーのボス 2ヶ所を
フレームに差し込み、ボルトを
取り付けます。



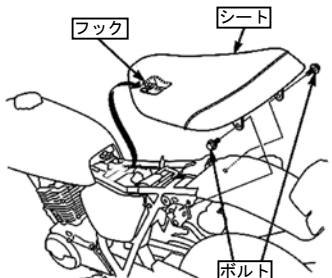
⑧シートとタンクの取り付け (Ape の場合)

◇フューエルタンクをフレームに
取り付け、ボルトを締め付けます。

▲ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：26N・m (2.7kgf・m)



◇シート裏面の前部のフックを
フレームに差し込み、2本の
ボルトでフレームに取り付けます。



●フューエルホースの接続

◇フューエルコックにフューエル
チューブを接続し、チューブ
クリップで固定します。



☆エンジン始動

- イグニッションキー、ガスコックが OFF になっているのを確認し、
スパークプラグを取り外します。
- しばらくキックをし、エンジン各部にエンジンオイルを十分に
行きわたらせます。
- スパークプラグを取り付け、ガソリンコック、イグニッションキーを
ON にし、エンジンを始動させます。

▲ 注意：必ず規定トルクを守る事。
▲ 警告：必ず換気のよい場所で行う事。

- 異音など異常が無いが確認します。
- 異常が無ければ 100km ~ 150km 位までは慣らし運転を行います。
- 慣らし運転終了後、異音やブローバイなど異常が無いが確認します。
(異常がある場合は、再度エンジンを分解し、各部を点検する。)

▲ 警告：ピストンピンサークリップは再度使用しない事。

▲ 注意

- エンジン組み付け時、規定トルクで締め付けているボルトや
ナットもエンジンが温まり熱膨張を繰り返すと少しずつ緩んで
くる場合がありますので、定期的に各ボルト、ナット類を増し
締めして下さい。

▲ 注意：必ず規定トルクを守る事。

●走行前の注意

①使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオク
タン価ガソリンと入れ替えて下さい。

②スプロケット (Ape のみ)

スプロケットは、用途に合わせて調整して下さい。
ただし、あまりローギアすぎる設定は、各部の摩耗が激しくなり、
エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジン破損
してしまう恐れがあります。適切な設定でご使用下さい。

●その他

①オイルクーラー (Ape のみ)

当製品を取り付けると出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。
エンジンに長時間の負荷を与える走行には、オイルクーラーキットの
装着をお勧めします。

②カムチェーン

出力アップ、エンジン発熱量の増大に伴い、弊社製ソリッドカムチェーン、
ダイハードαの使用をお勧めします。

③温度計

このキットのシリンダーサイド部にはスティックタイプの温度センサーが
取り付け出来ます。

弊社製の下記メーターが使用出来ます。
・ミディアム LCD α タコ & サーモメーター

○詳しくは、弊社総合カタログ又は WEB カタログにてご確認ください。
<http://www.takegawa.co.jp>

